

**第 1 章 離職者訓練用訓練課題の開発及びメンテナンスに
関する調査研究の概要**

第1章 離職者訓練用訓練課題の開発及びメンテナンスに関する調査研究の概要

1-1 研究の目的

離職者訓練の実施にあたって、訓練課題は教科書と共に核となる教材である。また、訓練受講者個々の技能・技術の習得度状況を確認するためにも訓練課題は重要なものである。

訓練科や訓練カリキュラムについては、技術革新等に伴う人材ニーズの変化等に対応し逐次見直しが図られている。その中でカリキュラムの見直しだけでは、訓練の均質性や訓練品質が担保できない。そのため訓練を担当する職業訓練指導員個々に委ねるだけでなく、これまで標準的な訓練課題の開発及びメンテナンスを図り、訓練の品質の向上と均質性の維持を図ってきたところである。

本調査研究では、訓練カリキュラムに合致し、かつ、訓練受講者個々の訓練効果を高めるため、訓練カリキュラムの見直しに併せて訓練のPDCAサイクルに沿った訓練課題の開発・改善を継続的に行うことを目的とする。

1-2 研究内容

全国の離職者訓練において、多く採用されているシステム・ユニット訓練の仕上がり像を調査して、その仕上がり像の訓練課題の整備をおこなってきた。今年度は、CAD/CAM技術科及び電気・通信施工技術科を対象に訓練課題を開発する開発部会と各訓練系において現在までに開発、実施された訓練課題について、アンケート調査等の結果を踏まえ見直し等をおこなうメンテナンス部会の2つの研究会を開催して検討をおこなった。

また、来年度から導入される、ジョブ・カードを活用した評価方法に対応するため、システム毎に訓練課題を準備する必要がある。現在公開されているものは59課題（機械系14、電気・電子20、居住25）である。6ヶ月の離職者訓練においては、2つの仕上がり像があり、6つのシステムから成っているため、1訓練科あたり6訓練課題が最低必要となる。それらの評価の考え方についての検討及び既存課題の開発・改訂をおこなった。

1-3 訓練課題の開発及びメンテナンス計画

(1) 訓練課題を開発する開発部会

各施設から提出された独自課題を収集し、新規作成分野の課題があれば、参考にして作成する。訓練科によっては仕上がり像の一部システムしか作成されていないものがあるので、選択科数の多い仕上がり像を中心に対応できていないシステムの訓練課題の作成を行う。

平成 23 年度については、以下の訓練科及び仕上がり像を対象に計画した。

■CAD/CAM技術科 仕上がり像 A、B の訓練課題（実技）・（筆記）の作成

■電気・通信施工技術科 仕上がり像 C、D の訓練課題（実技）・（筆記）の作成

そして、開発部会の基本的な取り組みフローは次のとおりである。（図表 1－1 参照）また、次項 1－4 開催スケジュールに実際の経過を記述している。

- 1 開発部会の設置（担当分野ごとに複数の委員委嘱）
- 2 課題対象（訓練科、仕上がり像）の選定、課題の内容、評価基準の設定・・・「第 1 回部会」（訓練カリキュラムの参照、既存の訓練課題や施設独自の課題を参考に経験を踏まえて題材を検討する）
- 3 訓練課題の作成・・・「第 1 回及び第 2 回部会」
- 4 機構内協力施設による訓練課題の試行（協力先の選定・依頼・課題提供、試行結果の報告）
※ 必要に応じて、協力施設等のヒアリング調査及び意見招集
（併せて、施設独自の課題、就職活動への活用事例などを伺う）
- 5 アンケート方式により試行結果と改善点を把握し、見直しを行う・・・「第 3 回部会」（問題点の解決に向けて検討する）
- 6 新規作成課題のWEB公開、利用促進
- 7 訓練課題の実施状況や問題点の情報収集

（2）訓練課題を改訂するメンテナンス部会

先行研究である「離職者訓練における職業能力評価のあり方に関する調査研究」（平成 19 年～21 年度）において作成された 55 種類の訓練課題、及び本調査研究の 1 年目である平成 22 年度に開発した訓練課題を対象にした施設アンケート調査・実施結果調査（平成 22 年 8 月 30 日業務推進部調査役 事務連絡で依頼「離職者訓練の習得度測定における訓練課題（実技及び学科）の活用結果等に係るアンケート調査の協力依頼について」）を踏まえて、既存の訓練課題とその付属資料について見直しを行なう。また、各施設から独自課題が提出された場合は、全国に提供できる内容か精査して、付属資料一式を用意して、標準的な訓練課題となるように改訂する。

なお、平成 23 年度はジョブ・カードを活用した評価方法に対応するため、システム毎の訓練課題をできるだけ多く準備する必要があり、新しい考え方に基づいた既存課題のメンテナンスに加えて、新規の課題作成についても行うこととした。

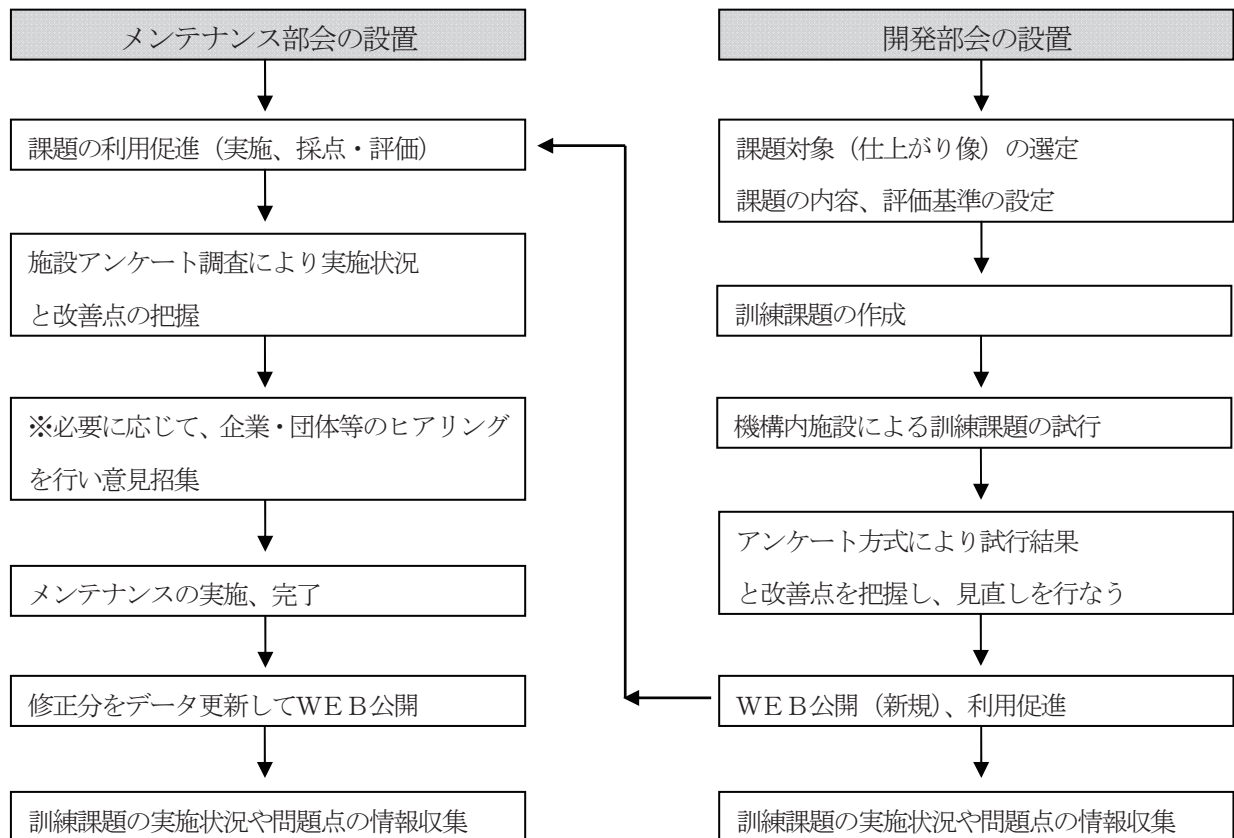
■訓練課題のメンテナンスは、アンケート結果の状況を見ながら、委員による検証に応じて対応する。また、メール等で修正対応を依頼する場合がある。なお、平成 22 年度に取り組んだ試行段階にある訓練課題（【機械系】普通旋盤、フライス盤）や前回のアンケート結果のうち着手できなかった意見・要望を確認して、見直しを行なう。

■ 7つの担当分野（機械加工、金属・溶接、電気保全、電気工事、組込み、住宅、ビル設備管理）に分かれて、既存課題のメンテナンス及び新規の課題作成について取り組みを行う。

そして、メンテナンス部会の基本的な取り組みフローは次のとおりである。（図表1-1参照）また、次項1-4 開催スケジュールに実際の経過を記述している。

- 1 メンテナンス部会の設置（担当分野ごとに複数の委員委嘱）
- 2 課題の利用促進・・・「第1回部会」
（訓練課題の内容を見て実施してもらい、採点・評価までに至る工程を確認する）
- 3 施設アンケート調査により実施状況と改善点の把握
※ 必要に応じて、企業・団体等のヒアリング調査及び意見招集
（併せて、訓練内容に対するニーズや人材ニーズなどを伺う）
- 4 メンテナンスの実施・・・「第1回部会」
（問題点の解決に向けて検討する）
- 5 メンテナンスの完了（修正した訓練課題の内容確認、精査）・・・「第2回部会」
- 6 修正分をデータ更新してWEB公開
- 7 訓練課題の実施状況や問題点の情報収集

図表1-1 訓練課題の開発及びメンテナンスに係るフロー



1-4 開催結果概要

<離職者訓練用訓練課題開発部会>

① 第1回

日時：平成23年6月30日（木）13時から17時

平成23年7月1日（金）9時から15時

場所：職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター L21

議題：

(1) 「離職者訓練用訓練課題の開発及びメンテナンスに関する調査研究」の概要について

(2) 訓練課題の新規作成について

1) 施設からの独自訓練課題を検証し、新規訓練課題に採用できるか検討

2) 担当分野について、実技課題・筆記課題の新規作成

■施設からの独自訓練課題を確認して、採用の可否を検討した。

■新規訓練課題の作成計画を立案して、作成期限を9月末とした。

② 第2回

月日：平成23年10月13日（木）13時30分から17時

平成23年10月14日（金）9時から15時

場所：職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター L21

議題：

(1) 作成した訓練課題の内容確認、精査について

■計画していた12の訓練課題について、資料が9月末に提出された。

■付属資料に未完成があり、部会を通じて10月21日までに完成させる。

(2) 訓練課題の試行実施の検討について

■試行の対象施設について、実施可能な日程を細かく調査する。

■試行に係るアンケート調査票及び依頼文書を完成させる。

■該当施設に対して試行及びアンケートの協力依頼を行なう。

■開発した12課題の試行期間は、11月～1月末とした。

■19施設に協力依頼して、17施設から約60件の協力の回答があった。

③ 第3回（開発部会とメンテナンス部会の同日開催）

月日：平成24年2月1日（水）13時30分から17時

平成24年2月2日（木）9時から15時

場所：職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター L21

議題：

- (1) 施設内訓練におけるジョブ・カード交付等について
 - (2) 訓練課題2部会の進捗状況と今後の予定について
 - (3) 訓練課題の新規作成・メンテナンスについて
 - 1) 試行結果をもとに、訓練課題の検証・見直し
 - 2) 訓練課題とジョブ・カード様式4-2（評価シート）の照合
 - 3) 既存課題（学科）に係る評価判定について
- アンケート結果による見直し修正をして、2月中旬までに提出する。
- ノーツ掲示板を利用して、できるだけ多くの訓練課題を公開する。

<離職者訓練用訓練課題メンテナンス部会>

① 第1回

日時：平成23年8月4日（木）13時30分から17時

平成23年8月5日（金） 9時から15時

場所：職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター L21

議題：

- (1) 「離職者訓練用訓練課題の開発及びメンテナンスに関する調査研究」の概要について
 - (2) 訓練課題のメンテナンスについて
 - 1) アンケート結果による既存課題の修正
 - 2) 委員による既存課題の検証（新しい整理で課題を振り分ける）と見直し
 - 3) 求められる訓練課題の作成（対応できていないシステムの訓練課題を作成、基本的には1仕上がり像毎に評価課題2つと総合課題1つを整備する）
- 新規訓練課題の作成計画の具体的な内容について、資料提出を依頼した。
- 既存課題の修正期限は9月末、新規課題の作成期限は12月末とした。

② 第2回（開発部会とメンテナンス部会の同日開催）

月日：平成24年 2月1日（水）13時30分から17時

平成24年 2月2日（木） 9時から15時

場所：職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター L21

議題：

- (1) 施設内訓練におけるジョブ・カード交付等について
- (2) 訓練課題2部会の進捗状況と今後の予定について
- (3) 訓練課題の新規作成・メンテナンスについて
 - 1) 修正及び開発した訓練課題の内容確認、精査

- 2) 訓練課題とジョブ・カード様式4-2（評価シート）の照合
- 3) 既存課題（学科）に係る評価判定について
- 4) 【機械系】汎用機械の試行結果をもとに訓練課題の検証・見直し
 - 試行前の新規訓練課題においても、ノーツ掲示板を利用して公開する。
 - 作成途中の訓練課題を完成させて、2月中旬から末日までに提出する。
 - 公開時期までに出来なかった場合は、遅くとも23年度中に完成させる。

③ 第2回（居住系ビル設備管理分野は、別日程で開催）

月日：平成24年 2月6日（月）13時30分から17時

平成24年 2月7日（火） 9時から15時

場所：職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター L22

議題：上の第2回メンテナンス部会（2月1～2日）に同じ。

1-5 ヒアリング調査概要

(1) 訓練課題の作成段階における企業ヒアリング（京都センターの委員と同行）

内容：持参した「訓練課題」についての意見招集

：訓練内容に対するニーズや採用に求める人材等の意見招集

① 企業1（電気・通信施工分野に関連する企業、京都市内）

月日：平成23年 9月13日（火）10時00分から11時30分

② 企業2（ビル設備管理分野に関連する企業、京都市内）

月日：平成23年 9月13日（火）14時00分から16時

(2) 訓練課題の試行実施に係る協力施設へのヒアリング

内容：訓練課題の試行検証状況について

：その他の訓練課題の実施について

：教材について、施設見学、等

① 山梨職業訓練支援センター（CAD/CAM技術科の試行実施）

月日：平成23年12月26日（月）11時00分から17時

② 香川職業訓練支援センター（電気・通信施工技術科の試行実施）

月日：平成24年 1月23日（月）14時00分から17時

平成24年 1月24日（火） 9時30分から11時30分

③ 岡山職業訓練支援センター（CAD/CAM技術科、及び電気・通信施工技術科の試行実施）

月日：平成24年 1月24日（火）15時00分から17時

平成24年 1月25日（水） 9時30分から11時30分